令和３年２月１９日

令和２年度　学校評価についての学校所見

今年度の保護者学校評価アンケートはコロナ禍のため年１回、12 月に実施し、用紙と Web の２つの回答方法を導入しました。その結果、全家庭の 69.7%の保護者の皆様からご回答をいただき、Ｄ評価項目別や自由欄にのべ 117 通のご意見をいただきました。ありがとうございました。いただいたご意見すべてにお答えはできませんが、生徒、教職員のアンケート結果も含めた数値や学校評議員のご意見も反映させ、学校として今後の教育活動について回答させていただきます。

今後とも、保護者や地域の皆様からのご意見を受け止め、参考にさせていただきながら、よりよい上石神井中学校をつくってまいりたいと考えております。

１　学習環境について

生徒アンケートでは教室の雰囲気が「落ち着いている」とするＡ評価が 22%、「どちらかと言えばそう思う」のＢ評価 51%という結果でした。また、保護者アンケートではＡ評価が 36%、Ｂ評価を合わせると 85%という結果で、昨年度より 11 ポイント向上しました。生徒評価の「真剣に授業に参加している」では 49%がＡ評価と回答しており、Ｂ評価「どちらかと言えばそう思う」を合わせれば 92%でした。

この結果から、真剣に取り組もうとする生徒が増えていることがわかりますが、校長等の教室巡回時には、担当教員や時間帯によって集中できていない様子や居眠り、私語なども見られ課題が散見されます。今後も全体の学ぶ意欲の向上や、分かりやすい授業の工夫、生徒間で注意し合う姿勢を育成し、学習環境の改善に努めてまいります。

２　基礎学力の定着に向けた取組や指導法改善について

基礎学力向上のための取組について、保護者評価ではＡ評価 25%、Ｂ評価 51%という結果でしたが、生徒はＡ評価 56%、Ｂ評価 35%という結果で、昨年度より肯定的な評価となっています。また、分かりやすい授業の工夫について、生徒評価はＡ評価 52%、AB 評価合わせて 91%が肯定的な評価でした。

保護者の自由意見では、意識の高い生徒も含めた個々の生徒に合わせた補充学習の充実や、ICT 機器の活用をもとめるご意見がありました。今年度は新型コロナ感染症予防で外部人材を校内に入れられないため、東京未来塾が開設できず、本校の教員が可能な範囲で放課後に指導する状況となり、十分な時間が保証できませんでした。

今後も、基礎学力の定着に向けた授業改善、補充教室の充実に努め、東京未来塾も状況に応じて再開していきたいと考えています。また、各教科では基礎基本の定着に向けて小テストなども定期的に実施しています。家庭学習の充実も重要ですのでご指導をお願いします。

３　家庭学習について

生徒評価では「時間が増えた」Ａ評価 46%Ｂ評価 29%で、75%が肯定的な評価で

した。しかし、保護者評価では AB 評価合計 58%で、学習習慣が十分定着していない状況がうかがえます。保護者自由意見では「何をしてよいかわからない」や「テスト前だけでなくもっと課題、宿題を出してほしい」等があり、教員の自己評価も 28%が十分に課題を与えていないと評価しています。この結果から、新たに配布された生徒タブレット端末の活用も含めて、各教科担当教員が、学力の定着や向上に必要な課題を具体的に示すよう改善を図ります。ご家庭でもお子様への指導をお願いいたします。

4　学校生活について

「充実した学校生活を送っている」については 72%の生徒、59%の保護者がＡ評価で、コロナ禍の中でしたが、全体的に肯定的な評価でした。自由意見にもコロナ禍においても安心して学校生活ができていることへの感謝の言葉をいただきましたが、学校行事を中止したことへのご意見もいただきました。感染防止を第一に考えながらも、様々な教育活動を工夫し、充実した中学校生活となるよう努力してまいります。

5　思いやり・規範意識について

「相手の立場に立って考えたり行動したりする」ではＡ評価の生徒 47%、保護者 36%、Ｂ評価の生徒 40%、保護者 55%で、昨年度より生徒、保護者ともに肯定的な評価が増えました。毎月実施している調査では、重篤ないじめ問題は報告されていませんが、からかいや不適切な言動など軽微ないじめは発生しており、時期を逃さず指導し解決を図るようにしています。

次に「規律ある生活を送る」ではＡ評価生徒 54%、保護者 42%、『「あじみこし」（生活習慣）を意識した生活』ではＡ評価生徒 36%、保護者 26%という結果で、少しずつ改善されていますが、「あじみこしの指導」については教員もＡ評価 38%で、十分指導できていないことが課題です。学校として一貫した指導観や指導姿勢をもって指導にあたるよう改善を図ります。また、保護者自由意見の中で、医療従事者等へ宛てた感謝の手紙についてご意見がありました。新型コロナウイルス感染症については、国全体で様々な偏見や差別の問題が報告されており、人権教育の視点から様々な指導をしてきました。医療従事者への感謝の手紙もその一環であり、感謝の気持ちを表すことは大切な視点だと考えますが、強制する意図はありませんので、適切に指導してまいります。

また、基本的な生活習慣の定着や思いやりの心の育成は、学校だけで育成できるものではありません。ご家庭でも積極的にあいさつを交わす、思いやりのある言動について一緒に考えるなど日常的な取組をよろしくお願いいたします。なお、学校生活についてご家庭でお気づきの点がありましたら、すぐに学校にご連絡ください。

5　教員の生徒指導力、接遇について

保護者自由意見では、コロナ禍の中、安全・安心な環境作りや指導について感謝の言葉を多数いただきましたが、「言動に無駄がある」「大人としての見本を示してほしい」「えこひいきがある」など少数ですが課題もご指摘いただきました。今後も研修や指導を適宜行い、教員の人権感覚を向上させてまいります。接遇については AB 評価合わせて 96%が肯定的な評価でした。今後も丁寧な対応に努めてまいります。

6　教育相談の充実について

「相談にのってくれる」Ａ評価の生徒は 56％で、保護者Ａ評価 50％、どちらも AB 評価を合わせると、86％以上で昨年度同様、肯定的な評価でした。しかし、保護者自由意見では「もっと丁寧に生徒の様子を見て、話を聞いてほしい」とのご指摘も数件ありました。今後も生徒の行動観察を丁寧に行い、相談的な活動に努めてまいります。

また、配慮を要する生徒の指導については、週１回の定例会議を継続し、特別支援教室の教員や養護教諭、スクールカウンセラー、区関係機関を活用して組織的に個々の生徒の状況に応じた指導ができるように努めてまいります。ご家庭でご心配な点やお気づきの点がありましたら、いつでも話しやすい教職員にご相談ください。

7　美化活動・安全指導について

美化活動については、生徒、保護者評価の両方とも AB 評価を合わせて 87％以上、安全指導・避難訓練についても、両方で AB 評価を合わせて 90％以上の肯定的な評価でした。今後も、引き続き消毒作業を継続して感染症予防に努めるとともに、清掃活動の充実と様々な災害を想定した訓練を計画的に実施してまいります。

8　積極的な学校情報の公開、学校公開について

保護者Ａ評価 52％、Ｂ評価 42％という肯定的な評価でした。生徒も「各種通信を持ち帰っている」という項目で AB 評価合計は 83％でした。

今年度はコロナ禍で十分な学校公開ができず申し訳ありませんでした。今後も感染症予防に努めながら状況に応じて、適切な学校公開や情報提供に努めてまいります。

9　部活動について

59％の生徒がＡ評価、AB 評価合計 85％で昨年度より２ポイント上昇し、保護者評価も AB 評価 71％で 13 ポイントの上昇で、いずれも肯定的な評価でした。

今年度はコロナ禍のため十分な活動が実施できず、大会等も縮小や中止となり、生徒には残念な思いをさせ申し訳ありませんでした。今後も、中学校体育連盟や区教育委員会の指示の下、感染症予防に努めながら可能な限り活動をしていきます。保護者自由意見では、部活動の活動時間の保障や外部指導員の増員などについてご意見がありました。活動時間等については、教員の働き方改革の中でガイドラインに沿った実施が求められ、練習は１日２時間、週末３時間程度で週１日と週休日のいずれか１日は休養日とすることが求められています。外部指導員の増員については、区全体で限られた予算の中で配置しているため、難しい状況です。ご理解とご協力をお願いいたします。

10　給食の献立等について

生徒Ａ評価 45％、AB 評価合計 78％で昨年度より 15 ポイント下降、保護者アンケートも AB 評価合計 77％で、肯定的な評価は多いものの 11 ポイント下降しました。保護者自由意見では「豆が頻繁に入ることが多いらしいですが、親としては家で食べないのでありがたい」との意見に対して「食材に偏りがある」「苦手な食材の豆類が多く食べ残しや食品ロスが気になる」などがありました。残さい率は 5％以下で、校長・副校長も毎

日検食し、献立の内容や味付け、鮮度等について評価しています。給食の献立はアレルギー体質の生徒も一緒に食べられ、バランスも良いことが重要です。今後も様々な食材を活用し、安全安心でおいしい給食の提供に努めてまいります。今後、試食会の機会ができましたら是非ご参加いただき、ご意見等を献立作りに活かしたいと考えています。

11　適切な進路指導、評価評定について

進路指導について、57%の生徒がＡ評価でＡＢ評価を合わせると91%が、保護者評価ではＡ評価29%、ＡＢ評価合わせて78%が肯定的な評価でした。また、評価評定については生徒Ａ評価が58%でＡＢ評価合計が92%、保護者AB評価合計が87%という結果でした。保護者意見では「点数評価しか話さない教員に不信」や実技評価の評価方法についてご意見がありました。進路指導については３年間のキャリア教育の中で、将来の職業等についても考えさせる指導の充実を図り、三者面談の内容についても点数主義にならないよう改善します。評価評定については「学びの道しるべ」を発行し、各教科の評価規準や評価方法を示しています。次年度については、新学習指導要領の完全実施に伴い、全教科の評価の観点が３観点となります。詳細については新年度にご説明いたします。よろしくお願いいたします。

12　学校行事の充実について

今年度はコロナ禍の中で学校行事の縮小、中止を余儀なくされました。特に３年生には大変辛い思いをさせ、申し訳なく思っています。そうした状況下でしたが、生徒のＡ評価57%、AB評価は合計85%で肯定的な評価でした。保護者もAB評価合わせて80%が肯定的な評価でした。自由意見では、ねぎらいの言葉を多くいただきましたが、生徒へのケアが足らないとのご指摘もありました。今後も丁寧な説明と可能な範囲で行事の実施に努めてまいりますが、疑問点等がありましたら遠慮なく学校へお問い合わせください。

13　その他

①保護者アンケートの選択肢「わからない」の欄について

・今年度は学校公開の機会も少なく、学校の様子が見えにくいとのご指摘もありました。アンケート実施前に学校評議員会でも本件について協議しましたが、学校としては、ホームページの情報やお子様から学校生活の様子を聞いていただき、可能な範囲でご判断いただければと考え、「わからない」の選択肢は設けませんでした。

②日常的な体育着での登校について

・季節に関係なく体育着での登校を自由に選択させてはどうかというご意見をいただきました。夏季の体育着登校は、体育の更衣時に三密を避け感染症を予防すること、熱中症を予防することの２点を目的に実施しました。学校としては、基本的な生活習慣や身だしなみ、愛校心の醸成など標準服を着る意義は大きいと考えており、日常的に体育着登校を実施する考えはありません。ご理解とご協力をお願いします。

③朝学習の実施について

・本校では、伝統的に朝読書を実施しています。朝読書は登校後に気持ちを落ち着かせ

集中力を高める効果や読書に親しみ思考力や想像力を高める効果などもあります。

なお、今年度についてはコロナ禍で６月から新年度がスタートしたため、様々な方法で標準年間授業時数を確保しました。特に３年生については進路関係で授業カットがあり授業時数が不足するため、今年度に限り朝学習を取り入れました。

④生徒手帳の下着の色指定について

・ワイシャツの下に着るＴシャツの色等について、校則では「白」でワンポイントも可能としています。これはワイシャツの下にＴシャツを着る場合にワイシャツの白地にＴシャツの色が透けて見えるので、身だしなみとしてふさわしい色を白地としたためです。肌着については多様化が進んでいるので、校内で検討いたします。